

町内にはさまざまなコミュニティがあり、独自の活動をしています。そんな皆さんの活動やイベントをご紹介するコーナーがグループライフ(仲間との生活)です。

GroupLife

グループライフ

GroupLife 子育てはたくさんの笑顔とたくさんの手で～「つなぐ・つながる」をめざして～

NPO法人ふじみ子育てネットワーク ☎62-5505

子育てひろばAiAi「おさんぽ隊」

富士見町は豊かな自然に恵まれています。せっかく恵まれた環境があるのに、室内で過ごしてばかりじゃもったいないと、AiAiでは月に3回外あそびを楽しむ「おさんぽ隊」を開催しています。子どもと自分だけだとちょっと外はおっくうだな～というお母さんも、仲間と一緒に出かけることで、気持ちもがリラックスして野外の気持ち良さ心地良さを満喫できます。また乳幼児期から外で遊ぶことは、子どもにとっても大切です。よく子どもの育ちには曜日の体験が必要と言われます。月(夜)、火(ひ)、水(みず)、木(森、木)、金(人工物)、土(つち)、日(太陽)。お日さまの光のもと、水あそび、森の中のさんぽ、泥あそび、今の季節は雪あそびも！AiAiおさんぽ隊なら気軽に外あそびが楽しめます。

脳の動きが活発になり、感性が豊かになり、体も動かせその上お友達との関わりも深まる外あそび。AiAiおさんぽ隊の開催日は毎月の「AiAiつうしん」でご確認ください。参加をお待ちしています。



GroupLife 最近、笑ってますか？ 保健補導員会連合会

寒さが一層厳しい季節となりました。毎年冬になると諏訪地区保健補導員会研究大会が行われます。諏訪地区6市町村の保健補導員が集まり、自分たちの勉強の成果を発表する場でもあり、昨年は12月19日に下諏訪総合文化センターで開催されました。

講演会のテーマは「笑いで健康づくり～笑顔でいいさつ、笑顔で健康～」。日本笑い学会信州支部長の田中高政先生にお越しいただき、笑うことの大切さを実技も交えながら楽しくお話しいただきました。体験発表は諏訪市と原村のみなさん。どちらも健康の大切さと、それを支える保健補導員の役割について寸劇を通してユーモラスに伝え、会場全体が暖かい笑いに包まれた研究大会となりました。



Group Life 寒さに負けず楽しく体を動かしましょう!

富士見町地域スポーツクラブ

問 海洋センター内 ☎ 62-6126 町民センター ☎ 62-2400

【参加者の皆様からいただいた声】

- 楽しい雰囲気で気分も晴れやか。
- 心も身体もリフレッシュします。
- 休んだ日は身体がなまった気がします。
- 体の調子が良いです。
- 体内年齢が10歳若返りました。
- 農作業時に今まで感じていた腰の痛みがなくなり膝も強くなりました。
- 以前より長時間できるようになりました。
- 1年続けた頃から階段もラクラク。
- ウォーキングや花見の会も楽しみです。
- 楽しい仲間が増えました。
- ライフワークについていきます。など…



「いきいきストレッチの集い」「サロンげんき塾」

■日 程 毎週木曜日 午前10時～11時30分
■場 所 町民センター

「ストレッチ教室」

■日 程 毎週火曜日(第2・休館日を除く)
午前10時～11時15分
■場 所 清泉荘

お気軽に
ご参加
ください!

Group Life 「アツモリソウ」を富士見町のどこでも見られる花にしたい

富士見高校バイテク部

皆さんこんにちは。「おらほ一富士見」です。今回は、富士見町アツモリソウ再生会議に参加しながら、アツモリソウの保護再生に取り組んでいる富士見高校農業クラブバイテク部を紹介します。

アツモリソウは絶滅危惧種に指定されている植物で、中でも富士見町の釜無山に自生していたアツモリソウは、「釜無ホテイアツモリソウ」という名前で大変人気がありましたが、様々な原因で現在は35株しか発見していないとのこと…。

富士見高校バイテク部は「アツモリソウを富士見町のどこでも見られるような花にしたい」という思いで、再生会議の方々より指導を受けながら、フラスコから出した苗を外の環境に適応させるための試験を行ってきたそうです。なんと、6年にもわたり、先輩の研究成果を代々引き継ぎながら、今まで研究を進めてきているのだそうです！

ひと口に研究と言っても、アツモリソウは播種から開花までに6年以上かかるうえ、フラスコ苗1,000株に対して開花するのが1株といわれているほど栽培が難しく、栽培方法がほとんど分かっていないこと…。そこで富士見高校バイテク部はいくつもの研究テーマを設けて「アツモリソウの生育特性」と「栽培に適する培養土・容器・肥料」について解明していったそうです。

大切な苗を消滅させてしまう悔しい思いも数多くされたそうですが、それに負けることなく、オリジナル用土作成など、アツモリソウの復活に向けて日々努力を重ねてきたとのこと。さらに今年度、研究の成果を携え農業クラブの大会に出場し、見事、県大会・北信越大会で最優秀賞、さらには全国大会への出場を果たしたそうです。おめでとうございます！

アツモリソウ復活に向けた活動は現在も継続中。ぜひ今後のバイテク部の活躍に注目してくださいね！



▲絶滅危惧種に指定されているホテイアツモリソウ



▲最適な生育環境を模索するため、様々な環境での栽培を試みたそうです



▲4年間の研究から生み出されたオリジナル用土。
その名も「富士見高校スペシャル」！